

2008年新春号

# 朗読

## ニュース



NPO 日本朗読文化協会

- ◎第6回「朗読の日」公演
- ◎港区平和の祈念朗読「声に出す平和への祈り」
- ◎第3回朗読コンクール
- ◎朗読教室・朗読ワークショップ
- ◎源氏物語一千年紀記念事業
- ◎八重洲ブックセンター朗読会

NPO日本朗読文化協会の理事長をお引き受けしてから早、4年近くになりますが、あっという間でした。

朗読の日、港区平和の祈念朗読、コンクール、八重洲ブックセンター、ジュンク堂、住友信託銀行での朗読、その他ワークショップ、会員の朗読会などほとんどに年間たくさんの朗読会があり、それを順にやっているうちにもう1年が過ぎてしまいます。その間に私としてはNPO日本朗読文化協会のために全力投球でして来たという思いはあるのですが、はたしてそれが皆様のご期待に添えたものかどうかは自信がございません。これからも前を見て進んで行くつもりです。

どうか又この1年を皆様の大きなお力を頂きながら、大好きな朗読のために心一つにして頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

NPO日本朗読文化協会理事長

城所 ひとみ

## 「かもめ朗読会」

NPO日本朗読文化協会朗読ボランティアグループ「かもめ」は12月2日(日)港区男女平等参画センター リーブラのホールで、朗読会を開催しました。4回目を迎える今回は、「音楽と朗読のコラボレーション」と銘打ち、最初と中間にピアノの演奏があり、篠笛の演奏を入れた演目やモーツァルトの曲をバックグラウンドにしたものなど、9つの作品によるバラエティー豊かな朗読会になりました。



前回と同様 音響・照明・会場の係などすべて会員で分担し、温かな雰囲気の中で楽しんでいただけるようにしようと、出演者12名・スタッフ15名が力をあわせ、51名の方にご来場いただきました。

「とてもすばらしい朗読会です。皆さま素敵でした」「読む情熱」に敬服しました」などのご感想が寄せられ、朗読の持つ魅力の大きさを実感させていただきました。ありがとうございました。

「かもめ朗読会」担当 石野恵子 土岐志のぶ

## 八重洲朗読会4年目に！！

八重洲朗読会〔第30回〕は1月19日(土)に新春の幕を開けました。和服姿が3人の華やかな舞台に、「TOKYO ステーション・キッド」の著者森下真理氏のインタビューとサイン会というおまけもつきました。新聞掲載がなかったにも拘らず130人を超えた来場者数は、この朗読会の評判が定着してきたことの表れと言えましょう。この会が産声を上げた丁度3年前の1月、「本屋さんでの朗読会」に期待と不安を抱いて初会合に集まった30人の誰が、今日の盛況を予測できたでしょうか。3年間、八重洲朗読会の成長に尽くしてきた実行委員3人は2月から補佐役に回り、土岐、宮崎が新実行委員を務めることとなりました。皆様の変わらぬご協力をお願い致します。

実行委員 土岐志のぶ 宮崎弥生 田中邦子 早川とし子 望月鏡子



<第30回八重洲朗読会を終えて>



## 「60歳のラブレター」

第4回を迎えた「60歳のラブレター朗読会」が、1月24日(木)住友信託銀行東京中央支店で行われました。前日は東京に雪が降り、天候の心配もありましたが、当日は回復して安心しました。



今回は女性会員6名、男性会員3名計9名での参加。住友信託銀行が毎年募集している「60歳のラブレター」第7巻の中から25編のラブレターを選び、児玉先生の熱いご指導の下、朗読させていただきました。

当日はラブレターの作者の方3名が遠方から駆けつけて下さり、大勢の方に聴いていただけて本当に良かったと思います。

また今回は音楽に渡辺真位さんのアイリッシュハーブの演奏が加わり、その音色に会場の雰囲気は温かく和やかな空気に包まれました。妻から夫へ、夫から妻へ…亡くなった夫、妻へ…二人の出会い、結婚を思い出す…病氣、障害を乗り越えた…ユニークな愛の形…などなどテーマを持たせながらの朗読に、会場の方は熱心に耳を傾けて下さり、あっという間の一時間でした。そして終わって帰られるお客様から笑顔で話しかけられたり、お礼を言われたりもして、嬉しさと共に私の方が励まされ、無事に終わることが出来て良かったと心から実感しました。

「60歳のラブレター」公演担当 宮内佳代子

## 地球温暖化への警告書の朗読を依頼されて

自分もわくわく出来て、将来ボランティアなどもしたくて、朗読を始めた。子どもの頃に、物語も画も自分で作り紙芝居で友達に見せた。白雪姫は恋人、ターザンは家来、ゴジラに乗り地雷也とチャンバラする話だった。顔をひん曲げて、白雪姫やターザン、ゴジラの声を出す僕を見て友達は、げらげら笑った。

一年半前に経験ゼロで壇晴彦さんの教室に飛び込んだこの無謀さ！今でも恥ずかしい。

その僕に、協会の草苺さんから朗読して貰いたい本がある、との連絡を頂いた。地球温暖化をテーマにした本で82歳の男性からの依頼だという。地質学、考古学、化学の用語あふれる本である。男性の家を訪ねた。ご自分の健康も不安な様子であったが、地球の将来、私たちの子孫が悲惨な状況に向かっている現実を看過できない、と熱い思いを語ってくれた。「目が不自由で読めないの、本の中身を、話し言葉で60分テープ、にして欲しい」と述べられた。一頁を読むと最低2分程かかり、本は全体で300頁ある。話し言葉で、十分の一にするには、僕が書き直すしかないかと決断した。「耳」で聞いただけでは理解しにくい言葉は易しく書き換えた。「音」だけでいかに伝えるか？僕は自分が耳になったつもりで考えようと思った。深夜、僕は何度も口に出して耳で言葉を選んだ。一ヶ月後、テープは完成した。男性は病の床からの電話で礼を言ってくれた。自分の命よりも、この世の将来を案じている男性に僕は頭をたれた。

僕が読んだ本は通常の朗読の対象にはならない。地球温暖化への警告と提案を呼びかけている本である。そこに文芸の流麗な言葉も、読む人を酔わせる世界も無い。でも僕は今、これを読めたことを深く感謝している。下手糞な僕の朗読テープを、心待ちにしている一人の人がいて、ご自分の命も危ういその人が待っているからこそ、僕は頑張れて、僕自身が自分の世界を押し広げることが出来たから。

僕はすでに、朗読について、始めた時には気付かなかった新たな可能性を信じている。

朗読した本は「気候変動の文明史」(安田喜憲著NTT出版)です。

茂木 英治

NHKがんばろうふるさと・イベントデー京都放送局(京都府の日)参加朗読—  
日本朗読文化協会会員西田久美子さん京ことば原文による「源氏物語」より『初音』  
1月19日(土)愛宕山NHK放送博物館



源氏物語千年紀の初春に、おめでたい「初音」を聴かせて頂きました。

親切的な解説をつけて頂いたので、大変わかりやすく、平安のお正月の華やかな世界を偲び、雅な雰囲気になりました。

千年紀のこの時にめぐりあい語る喜び、又、それを聴く事ができた幸せを思い出しました。紫式部も語る人を得て喜んでおられる事でしょう。

美しい日本の言葉を伝えていきたいという心意気が伝わってきた朗読でした。

(小泉康子)

ご寄付いただきました

\*茂木英治様……………謝礼金

\*西田久美子様………チラシ制作費

ありがとうございました



応援してください!

## 第2回朗読コンクール

2008年2月22日(金)予選 10:30~17:00

2008年2月23日(土)本選 13:30~17:10

高輪区民センター 区民ホール

特別参加 港区立青山中学校  
広尾学園高等学校

どなたでも、どこからでも、ご自由に御覧いただけます

入場無料!



主催:NPO日本朗読文化協会

共催:港区教育委員会

後援:港区(財)kiss ポート財団

博品館・キングレコード・八重洲ブックセンター

申込受付中!

池部 良のエッセイを朗読する会  
研究専科の会員(有志)による朗読会です。

お客様に池部良さんをお招きする予定です。

日時 2008年4月12日(土)午後2時~

会場 アイビーホール青学会館・シャロンの間

会費 2,500円(飲み物・お菓子つき)

申込 事務局

申込締切 2月末日(協会会員優先受付)

主催 NPO日本朗読文化協会研究専科

チケット代の振り込み口座

横浜銀行 中野支店 普通1310233

NPO日本朗読文化協会研究専科 小金洋子



### 朗読教室4月より

### 新コース開講!!

4月第2週より始まります。

(前期15日・後期15日)

詳細は後日決定します。

お問い合わせは事務局へ!

ホームページでもご案内します。



大好評につき第二弾!!

環 精彦短期集中ワークショップ

『言葉に命を与へる』

\*教材「武蔵野」国木田独歩作

(近代日本の自然主義文学を代表する作品)

\*日時・場所

3月20日(木)11時~17時

赤坂区民センター5F 研修室

3月21日(金)13時~17時

赤坂区民センター5F 研修室

3月22日(土)13時~17時

演劇倶楽部『座』朗読サロン

\*料金:25,000円

◎3日間通しで出席のこと

◎先着30名まで

・お申込後ご案内資料と振込み用紙を郵送致します

・振込みを確認後、正式に受付となります

(ご入金いただきました受講料の返金はいたしません)

・定員になり次第締切となります

### 落語研究の視察見学会

\*日時:5月20日(火)

5時限目 13:15~14:00 6時限目 14:10~14:55

\*会場:東京都立浅草高等学校 7F和室

\*講師:三遊亭京楽師匠

\*費用:無料

\*定員:先着20名

\*集合:13:00

\*申込締切:3月20日

参加ご希望の方は事務局宛にお申し込み下さい。

今秋、三遊亭京楽師匠の落語ワークショップ予定





## 第6回「朗読の日」博品館劇場公演決定！！

6月20日(金)、6月21日(土)、22日(日)の3日間

新しい演出家を迎えて、聴く人に感動を与える「朗読の日」公演を皆で作りに上げていきたいと思ひます。舞台演出/ラジオ番組制作等のキャリアも抱負な演出家による演出です。詩、エッセイなど、短い作品もふくめ、観客・出演者ともに楽しめるバラエティに富んだプログラム構成を目指しています。舞台での魅せ方、照明、音響効果にも大いに期待ください

### ＜演出家 飯田輝雄氏よりのメッセージ＞

今回縁あって「朗読の日」の演出を担当させていただくことになりました。長年舞台演出、ラジオ番組制作の仕事に携わり、朗読の楽しさ、奥深さを身をもって実感している一人です。特に近年の「朗読」ブームは、もはやブームとはいえない、裾野の広さを感じています。

2007年の「朗読の日」DVDを拝見し、皆さんが意欲的に朗読に取り組んでおられるのを知って、とても素晴らしいと思ひました。プロの舞台「博品館劇場」でも十分通用する表現力を、それぞれが磨いていらっしゃることを確認しました。

ただ、取上げる作品が名作小説に偏りがちであるのが、ちょっと残念だという印象も受けました。朗読で表現できるのは小説だけでなく、詩、童話、エッセイ、ドキュメンタリーなどさまざまです。ぜひ幅広いジャンルから作品選びをしてください。

また短い時間でも、印象的に作品世界を表現することは十分可能です。そこで今回は、一枠の単位を5分とし、短い時間でも、また初心者の方でも応募ができるよう配慮しました。

皆さんの「晴れの日」が素晴らしいものになるように、また、観客として会場に聴きにくる方たちの心に残る温かい公演となるように、微力を尽くす所存です。皆さんとの出会いを楽しみにしています

### 源氏プロジェクトチームからのお知らせ

源氏物語が世に知られて、一千年目を迎え、これを記念する行事が各地で盛んに行われています。NPO日本朗読文化協会でも、昨年「源氏プロジェクトチーム」が発足し、現在二つの企画を進めております。物語を朗読するだけでなく、奥の深い『源氏物語』を色々な角度から探っていくプログラムとなっております。

1 「源氏物語一千年紀特別講座」(4回) 朗読 能 香道を取り上げます。

4月 17日、24日 5月 (予定)

2 公演「源氏物語一千年紀 五感を楽しむ源氏物語」 於・矢来能楽堂

10月22日(日)

朗読と能のコラボレーションや、物語に登場する日本文化を体感し、『源氏物語』への理解を深めていただきます。

この機会に、『源氏物語』に親しんでみませんか。詳細は、おっってお知らせいたします。

(源氏プロジェクトチーム : 飯島晶子・加藤敏子・坂本有子・西田久美子・安田綾子)



## 「源氏物語一千年紀特別講座」(4回) 4月～5月予定

どなたでも受講できます。近々詳細をお知らせします。

ご期待ください！



CD「声に出して読む源氏物語」販売

2月26日(火)にパシフィック横浜国立大ホール「瀬戸内寂聴講演会」  
横浜高島屋「瀬戸内寂聴展」にて



ホームページをご利用下さい

インターネットで <http://www.rodoku.org/> と入力するか「NPO日本朗読文化協会」で検索すれば、協会のホームページにアクセス!

こんな画面が、あなたをお待ちしています。

最新の情報は勿論、画面左の項目をクリックするだけで、活動状況や協会の公演、近況報告など、たくさんの情報を簡単に読むことが出来て、とても便利です。

ぜひ、アクセスしてみてください。

[home お知らせ](#)

[主旨・経緯](#)

[事業内容](#)

[役員&賛同者](#)

[メッセージ](#)

[朗読ニュース](#)

[朗読スポットライト](#)

[活動報告](#)

[朗読教室](#)

[入会申込み](#)

[リンク](#)

(特定非営利活動法人)

日本朗読文化協会



東京都港区赤坂 9-1-7-572 Tel&Fax: 03-3479-4344

©月1日 日誌「朗読の日」

～協会認定講師 新規朗読講座～

宮内 佳代子: コミュニティアリーナ西新井/東京カルチャーヴィレッジ (池袋)  
渡部 玲子 : 東京カルチャーヴィレッジ (池袋)

理事会報告 (2008年2月3日)

- ・NPO日本朗読文化協会定款の見直しを開始
- ・「朗読の日」「平和の祈り」「朗読コンクール」の3事業に年間お手伝い費支出を決定
- ・朗読ボランティアグループ「かもめ」の活動に年間予算10万円の支出を決定
- ・源氏物語一千年記念事業として新教室の設立、10月22日能舞台公演を決定



NPO日本朗読文化協会を

今年もよろしくお祈りします

2008年新年会より

恭です!



会員期限更新期日です!

\*朗読ニュース購読会員募集中!

年会費 3,000円・「朗読の日」チケットプレゼントなど各種特典付き

朗読ニュース新春号 発行2008年2月20日

NPO日本朗読文化協会 理事長 城所 ひとみ

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-1-7-572 TEL:03-3479-4344 FAX:03-3401-2752

E-mail: [npo-rodoku@rodoku.org](mailto:npo-rodoku@rodoku.org) <http://www.rodoku.org/>